



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	19,008,700株	2018年9月期	18,386,100株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	478株	2018年9月期	198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	18,465,135株	2018年9月期3Q	17,888,086株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、既に減少に転じている生産年齢人口が2025年以降に更に減少が加速する中で団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達して高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。かかる展望を踏まえ、持続可能な経済財政の基盤固めに向けた構造改革を日本政府は推進しており、健康寿命の延伸を喫緊の課題として『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置きつつ、テクノロジーの活用により医療・介護サービスの生産性向上を実現する、新しい医療・介護システムを2020年までに本格稼働させることとしております。

さらに、製薬企業は医療従事者に向けた営業活動の生産性向上を企図し、情報提供・収集活動の一環としてウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワークなど、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。これにより、製薬企業にとってのeマーケティングは、かつての医薬情報担当者(MR)の「補充」としての位置づけから「主軸」としての活用を期待されるポジションへと変化しております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開するドクタープラットフォーム事業と、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開するヘルスケアソリューション事業に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,247,255千円(前年同四半期比40.0%増)、営業利益381,767千円(同29.7%増)、経常利益367,237千円(同20.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益253,489千円(同51.5%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ① ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、国内医師の3人に1人の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。また、薬剤評価掲示板などの広告配信を中心とした収益機会をコンテンツ制作や効果測定などの領域にも拡大させることを意図したサービス開発や提携を推進してまいりました。さらに、薬剤師向けのサービスとして新たに「ヤクメド」を正式リリースするなど、これまでの医師会員基盤を活用した事業領域からの拡大を推進しております。

これらの結果、売上高は1,704,154千円(同28.3%増)、セグメント利益は596,885千円(同29.0%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来、ドクタープラットフォーム事業に含めておりました当社の広報・採用部門にかかる費用について、グループ全体の広報・採用活動を担う役割が増したことから、当セグメントの経営成績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。この変更に伴い、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のドクタープラットフォーム事業のセグメント利益が、91,417千円増加しております。

#### ② ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第3四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatが運営する医療相談プラットフォームサービス「first call」、及び、株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業の各事業の収益基盤の強化に注力してまいりました。また、第1四半期に開始した株式会社Mediplatと株式会社スギ薬局の共同事業である「スギサポ」において、歩数記録アプリ「スギサポwalk」をはじめとするライフログプラットフォームの拡大を図るなど、事業拡大を推進しております。

これらの結果、売上高は543,525千円(同96.0%増)、セグメント利益50,745千円(前年同四半期はセグメント損失59,324千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて763,858千円増加し、3,333,911千円となりました。これは現金及び預金792,608千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて240,781千円減少し、560,383千円となりました。これは短期借入金60,000千円と未払法人税等102,258千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,004,639千円増加し、2,773,527千円となりました。これは新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加727,643千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加253,489千円を主要因とするものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、業績の進捗状況や今後の経済状況を踏まえ、2018年11月14日に公表した予想を上回る見込みとなりましたので、これを修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2019年8月14日)公表いたしました「通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,823,694	2,616,302
受取手形及び売掛金	417,137	389,809
その他	50,013	22,010
流動資産合計	2,290,845	3,028,122
固定資産		
有形固定資産	42,004	50,222
無形固定資産		
のれん	48,166	22,666
その他	69,232	97,681
無形固定資産合計	117,398	120,347
投資その他の資産		
その他	124,790	135,218
貸倒引当金	△4,986	—
投資その他の資産合計	119,804	135,218
固定資産合計	279,207	305,788
資産合計	2,570,053	3,333,911
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,793	16,387
短期借入金	60,000	—
1年内返済予定の長期借入金	78,320	67,079
賞与引当金	46,644	36,387
ポイント引当金	53,711	63,959
未払金	151,243	110,440
未払法人税等	131,046	28,787
その他	120,313	129,031
流動負債合計	648,072	452,073
固定負債		
長期借入金	152,370	107,507
資産除去債務	722	803
固定負債合計	153,092	108,310
負債合計	801,165	560,383
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	701,813	1,065,635
資本剰余金	918,859	1,282,681
利益剰余金	17,114	270,604
自己株式	△145	△448
株主資本合計	1,637,642	2,618,472
新株予約権	11,693	24,815
非支配株主持分	119,552	130,239
純資産合計	1,768,888	2,773,527
負債純資産合計	2,570,053	3,333,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,604,838	2,247,255
売上原価	420,397	711,725
売上総利益	1,184,440	1,535,530
販売費及び一般管理費	890,165	1,153,762
営業利益	294,275	381,767
営業外収益		
受取利息	4	9
為替差益	100	—
投資有価証券売却益	26,428	—
その他	1,142	543
営業外収益合計	27,675	553
営業外費用		
支払利息	1,734	995
持分法による投資損失	8,858	2,088
為替差損	—	26
貸倒引当金繰入額	572	18
株式交付費	4,988	—
新株予約権発行費	—	11,584
その他	—	369
営業外費用合計	16,154	15,083
経常利益	305,795	367,237
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,449
特別利益合計	—	2,449
特別損失		
オフィス統合費用	30,420	—
特別損失合計	30,420	—
税金等調整前四半期純利益	275,375	369,687
法人税、住民税及び事業税	113,417	96,980
法人税等調整額	△5,387	8,530
法人税等合計	108,030	105,510
四半期純利益	167,345	264,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	10,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,345	253,489

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	167,345	264,176
四半期包括利益	167,345	264,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,345	253,489
非支配株主に係る四半期包括利益	—	10,686



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、UBS AG London Branchから新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ363,271千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,065,635千円、資本剰余金が1,282,681千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,327,808	277,030	1,604,838	—	1,604,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	279	279	△279	—
計	1,327,808	277,309	1,605,117	△279	1,604,838
セグメント利益又は損失(△)	462,549	△59,324	403,225	△108,949	294,275

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去3,890千円、各報告セグメントに配分していない全社費用112,839千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,704,009	543,246	2,247,255	—	2,247,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	145	279	424	△424	—
計	1,704,154	543,525	2,247,679	△424	2,247,255
セグメント利益	596,885	50,745	647,631	△265,863	381,767

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去5,040千円、各報告セグメントに配分していない全社費用270,903千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、ドクタープラットフォーム事業に含めておりました当社の広報・採用部門にかかる費用について、グループ全体の広報・採用活動を担う役割が増したことから、当セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。この変更に伴い、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のドクタープラットフォーム事業のセグメント利益が、91,417千円増加しております。

(重要な後発事象)

1. 株式分割

当社は、2019年4月10日開催の取締役会に基づき、2019年7月1日付で株式分割を行っております。

(1) 株式分割の目的

当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2019年6月30日(日)(同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2019年6月28日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割を行っております。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	9,504,350株
今回の分割により増加する株式数	9,504,350株
株式分割後の発行済株式総数	19,008,700株
株式分割後の発行可能株式総数	67,000,000株

③分割の日程

基準日公告日	2019年6月10日(月)
基準日	2019年6月30日(日) ※実質的には2019年6月28日(金)
効力発生日	2019年7月1日(月)

④1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

2. 新株予約権の行使

当社が発行いたしました第11回新株予約権及び第14回新株予約権(※1)につき、2019年7月1日から2019年7月31日までに、以下のとおり行使されております(※2)。

第11回新株予約権

行使新株予約権個数	2,226個
交付株式数	445,200株
行使価額総額	141,573千円
未行使新株予約権個数	3,889個
増加する発行済株式数	445,200株
資本金増加額 ※3	72,011千円
資本準備金増加額 ※3	72,011千円

第14回新株予約権

行使新株予約権個数	1,250個
交付株式数	250,000株
行使価額総額	330,000千円
未行使新株予約権個数	1,521個
増加する発行済株式数	250,000株
資本金増加額 ※3	166,437千円
資本準備金増加額 ※3	166,437千円

※1 本新株予約権の用途は、主に既存事業におけるM&A及び資本・業務提携に係る費用であります。

※2 上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、2019年7月31日現在の発行済株式総数は19,703,900株、資本金は1,304,084千円、資本準備金は1,326,508千円となっております。

※3 資本金増加額、資本準備金増加額には新株予約権の振替額がそれぞれ含まれております。